

2024年11月1日

各 位

ENEOSホールディングス株式会社

シンガポール国立大学との覚書の締結について

当社（社長：宮田 知秀）は、シンガポール国立大学（National University of Singapore、以下「NUS」）と、スタートアップコミュニティの活性化を目的としたNUS傘下のスタートアップイニシアティブBLOCK71との協業に向け、10月31日に覚書を締結しましたのでお知らせいたします。この覚書は、BLOCK71の日本初拠点が名古屋に開設されることに合わせて締結されたものです。

当社は、本覚書に基づき、NUSおよびBLOCK71のエコシステムを活用し、ENEOSイノベーションパートナーズ合同会社（社長：長沼 亨）が主体となって、CVC活動を通じたイノベーションを加速させていきます。また、当社とNUSは、BLOCK71のエコシステム強化を目指し、さらなる産学連携に向けた協議も進めてまいります。

NUS Tan学長コメント

NUS Enterpriseでは、ENEOSホールディングスと提携し、私たちの広範なBLOCK71エコシステムとネットワークの強みを活かして、イノベーションとアントレプレナーシップのさらなる醸成に取り組むことを大変楽しみにしています。

この協力により、スタートアップが実際の業界課題に取り組む機会を得て、進化し続けるエネルギー分野のニーズに応えるソリューションを開発する能力が向上します。私たちのリソースとENEOSの専門知識を組み合わせることで、迅速かつ創造的な進歩につながるエコシステム構築を目指します。共に、持続可能なエネルギーと技術の未来を形作る次世代の東南アジアのスタートアップを育成することに尽力していきます。

ENEOS 宮田社長コメント

ENEOSイノベーションパートナーズ合同会社は、ENEOSグループのCVCとして、スタートアップ企業を活用した当社のイノベーションを推進するため、これまでに約180億円の出資を行ってきました。

BLOCK71は、東南アジアのスタートアップのハブであるシンガポールの中心的存在であり、東南アジア最大のインキュベーション施設として優れたエコシステムを築いています。日本での拠点開設を心からお祝い申し上げるとともに、最高のパートナーであるBLOCK71と、日本企業として最初の戦略パートナーとして協力できることを非常に嬉しく思います。今後もスタートアップを活用したイノベーションを通じて、社会課題の解決に貢献してまいります。

ENEOSはエネルギー・素材の安定供給を担う企業として「今日のあたり前」を支えながら、CVC活動を通じて最新技術の発展と、脱炭素化などの社会課題へのソリューション提供に貢献し、「明日のあたり前」をリードするために活動を続けていきます。

NUS Enterprise

シンガポール国立大学の起業支援部門であるNUS Enterpriseは、NUSおよびその枠を超えたイノベーションと起業の促進において重要な役割を果たしています。NUS Enterpriseは、体験型学習、産業との積極的なパートナーシップ、包括的な起業支援などを通じて、起業家精神を推進し、グローバルな視野と才能を育成しています。これらの取り組みやグローバルなネットワークにより、様々な起業プロセスを支援し、新市場でのエコシステム構築を促進しています。また、専門知識やコネクションの提供、産業との協力を通じて、起業家のスピンオフ成功を実現し、イノベーションを市場に展開する支援を行っています。このような取り組みは、大学の学術プログラムを強化・補完し、シンガポール国内外の産業界へのユニークな橋渡しとして機能しています。

BLOCK71

BLOCK71は、シンガポールを拠点とするグローバルな起業ハブです。シンガポール国立大学、Singtel Innov8（シンガポール企業Singtel社のCVC）、シンガポールのメディア開発庁の共同イニシアティブとして誕生し、優秀なスタートアップアクセラレーターやインキュベーター、VCとの多くのコラボレーションを行っています。

2011年の創設以来、BLOCK71は東南アジア内外のスタートアップ環境を一変させてきました。現在、9つ以上のインキュベーションセンターを有し、それぞれの拠点はスタートアップに必要なリソース、メンターシップ、ネットワーキングの機会、成長に適したコラボレーション環境を提供する発進基地として機能しています。これらの起業ハブは、世界中の大手企業、政府機関、大学との戦略的パートナーシップを結んでいます。

ENEOSホールディングス <https://www.hd.eneos.co.jp/>

“「今日のあたり前」を支え、「明日のあたり前」をリードする。”をグループ理念の実現に向けた決意とし、グループの長期ビジョンに掲げる『エネルギー・素材の安定供給』と『カーボンニュートラル社会の実現』の両立に向け挑戦を続けています。脱炭素・循環型社会という「明日のあたり前」の実現のために、新しいエネルギー・素材・サービスが求められる中、非連続な事業創造を行う組織として未来事業推進部とCVC（ENEOSイノベーションパートナーズ）を2019年に発足させ、約180億円の出資を行い、オープンイノベーションを推進しています。

＜締結時の写真＞



左：シンガポール国立大学 学長 陳永財

右：ENEOSホールディングス株式会社 未来事業推進部長 長沼 亨

以上